

南山大学人類学研究所主催・中部人類学談話会共催
公開シンポジウム

天文学と人類学の融合

第三回…それぞれの大地、それぞれの宇宙

- 12:30- 開場
13:00- 趣旨説明 後藤明(南山大学)
13:10- 大橋真砂子(南山大学・名城大学)
「古代・中世ヨーロッパにおける春分の日付」
13:40- 関口和寛(国立天文台)
「技術の進歩と宇宙観の変遷」
14:10- 戸田美佳子(国立民族学博物館)
「森から見える星空：
アフリカ熱帯雨林における夜の世界」
14:40- 休憩
15:00- 中野真備(京都大学院)
「インドネシア・バンガイ諸島の
サマ人の漁撈における天体利用」
15:30- 古澤拓郎(京都大学)
「インドネシア・スンバ島西部の在来暦法：
太陽・星・月・ゴカイ・
儀礼・農耕のシグナル伝達」
16:00- 小谷真吾(千葉大学)
「インドネシア・ロンボク島の暦法：
天文・自然現象との関連、
及び文化資源としての再評価について」
16:45- コメントと総合討論
司会：後藤明 総括コメント：高田裕行(国立天文台)
17:30 閉会

シンポジウムは無料で、
一般公開されております。

2018年3月18日(日)
13:00-----17:30

南山大学S棟4階 S48教室にて
(地下鉄名城線「八事日赤」駅より徒歩約8分)

<http://www.nanzan-u.ac.jp/Information/access.html>

問い合わせ先：
南山大学人類学研究所
Phone：052-832-3111(代表)
Fax：052-833-6157
E-mail：ai-nu@ic.nanzan-u.ac.jp
<http://www.ic.nanzan-u.ac.jp/JINRUIKEN/>